

No.123

とよころ 議会だより

6月
定例会

按田町政2期目初の定例会 今後の重要施策について問う

6月定例会あらまし

令和7年第2回定例会
は、6月3日に開会しまし
た。

1日目は、補正予算や条
例改正、豊頃町副町長の選
任など11件の議案審議等
を行い、いずれも原案ど
り可決、同意しました。

2日目は、一般質問ほか
議員発議2件と意見書5
件を可決するなどし、閉
会しました。

まずは、一般質問のよう
すからお伝えします。

今回は、2名の議員が登
壇し、町政2期目の政策に
ついてそれぞれの切り口で
質問しました。

一般質問

Q 物価高騰 助成金の見直しは

A 情勢を踏まえ柔軟に対応する

助成金の見直しは

Q 町長は子育て世代の経
済負担軽減を公約に掲げて
います。

町では、高校通学や小中
学校の修学旅行などに対し
助成していますが、現在の
物価高騰の状況を踏まえる
と、助成金の見直しは喫緊
の課題だと思っています。

今後の具体的な対応につ
いて伺います。

A 按田町長 昨今の物価
高騰が町民の生活に大きく
影響していることは、私も
強く実感しています。ま



おがさわら げんき
小笠原 玄記 議員

茂岩地区商店街の 再構築は

Q 消防庁舎移設も含め、茂岩地
区商店街の再構築は、町長2期目
の重要施策になると考えます。

A 町長 商店街の衰退は、町民
生活への影響や町の存続にとって
重要な課題と考えています。

空き店舗や後継者問題などの課
題を整理し、地域のニーズや特性
を踏まえた考え方をとりまとめ、
商工会と連携し、地域資源を活用
したコンパクトな商店街の再生に
取り組む考えです。

Q 茂岩地区の公共施設の利活用
の評価と今後について伺います。



まちなか活性化拠点施設
「ココロココテラス」

ん。そういった声があれば、子育
て支援策全体として対応を検討す
る必要があると考えています。

それぞれ根拠をもって助成金の
額を算出していますが、社会情勢
を踏まえて柔軟に対応する必要が
あると感じています。

財源は限られていますので、ど
のように配分するか協議し、より
よい支援ができるよう執り進めて
まいります。

Q 高校就学助成金は、最寄りの
高校までのJR通学定期代（豊頃
駅〜池田駅）が算定の根拠だと思
います。当初、月額5,000円
からはじまり、現在は月額7,0
00円を助成しています。

今年4月にJR運賃が改正さ
れ、ひと月の通学定期代は8,6
90円に値上がりしました。

高校就学助成金を見直す必要が
あると思いますが、考えを伺いま
す。

A 町長 高校就学助成金の算出
根拠は、最寄りの高校までの通学
定期代ですが、保護者負担をでき
る限り軽減することを第一に考
え、帯広市内や道外の高校へ進学
した生徒の保護者に対しても助成
しています。

7,000円の助成について、
今のところ保護者から増額してほ
しいという意見は聞いておりませ

産業振興について

Q 農林水産業や商工建設業など
我が町の基幹産業について、第二
者継承を含めた担い手対策が必要
だと考えます。

近隣自治体では、地域おこし協
力隊を活用した担い手、後継者確
保を行う例も増えています。

このことについて、本町の考え

を伺います。

A 町長 総務省の調査による
と、地域おこし協力隊の任期満了
後に定住した隊員のうち、約15
パーセントが一次産業に従事して
います。地域おこし協力隊にとつ
て、一次産業が職業の選択肢にな
り得ると考えます。

これまで地域おこし協力隊の募
集に関しては、飲食業や小売業の
新規起業希望者や観光振興のため
の人材などを中心に募集していま
したが、今後は、一次産業の担い
手も視野に入れて募集したいと思
います。

各産業団体と事業承継について
情報連携を密にしながら、地域お
こし協力隊の募集を進めたいと思
います。

Q 産業誘致について、空き地や
遊休施設を活用した産業誘致の考
えを伺います。

A 町長 持続的な雇用創出や地
域経済の活性化を図るため、地域
住民や各産業団体と協議し、自然
環境への影響を十分に検証した上
で、空き地・空き家を活用した産
業誘致などあらゆる可能性に積極
的に取り組みたいと考えています。